

戦争準備・大軍拡NO!! 日本政府は禁止条約の署名・批准を

大雨の警報、古座川町集会、串本町平和行進は中止!!



古座川町長 串本町長、議長と懇談

西前啓一古座川町長
増田弘さん

田嶋勝正串本町長
鈴木幸生串本町議会議長



左 串本町原水協代表 西野政和さん
右 仲江孝丸串本町会議員

6月2日(金)平和行進は、古座川町、串本町に入りました。午前中、紀伊半島北部中心に線状降水帯が発生し大雨警報が出される状況の中、増田弘新宮・東牟婁原水協事務長と現地の方々が相談して、古座川町出発集会、串本町平和行進については中止と決められました。又、串本での平和コンサートは、同会場が避難施設となっていて、平和コンサートも中止し、簡単な平和行進集会だけ開催する事が決まりました。

集会前に、最初、古座川町の総務課を訪問して、議長記名ペナントを受け取り、その後、西前啓一古座川町長と懇談。今日の情勢を語る中で、「敵対するのではなく、直接足を運び、外交をする事が大事」と町長の思いをお聞きできました。串本町では、串本原水協末永潔さん、増田弘さん、県の事務局の3人で、町長室を表敬訪問。田嶋勝正町長、鈴木幸生議長が私たちが待っていて下さってます。増田弘さんが警報が出る中、平和行進は中止する事を伝えます。又G7サミットで各国の首脳は、平和資料館を見学し、献花もした。しかし、一方核のボタンも資料館に持ち込んでいる。これは、深刻な矛盾であるとの思いもお聞きすることができました。

平和行進・串本町集会が、串本町文化センターで始まります。文化センターの掲示版へ「2023年国民平和大行進」の横断幕とペナントを飾り付けます。集会の進行は増田弘さんです。最初、地元串本原水協代表西野政和さんは「父は貨物船の船員をやっていたんですが、徴用されて暁部隊に配属され、宇品の港に入港していたんです。丁度、毛布を干していたところ、風が吹いてきて、何かと振り返るときのこ雲が…。その前に、(閃光で)首筋が熱く感じました。8時15分です。それから同じ配属の戦友が市内にいるということで捜しに行きます。その経験を『我らの町』という教育委員会の方が出しているパンフレットに父の被爆体験を載せていただいた。父は古座をベース(すさみ町、串本町、古座町、古座川町)にした被爆者の会の会長をしていました。」と、最初お父さんの被爆体験からお話しされました。(第1集「語りつがなばならない事」昭和47年、「語りつがなばならない事」昭和61年<和歌山原爆被災者の会編>2度西野さんの父の被爆体験が掲載されている。)

県事務局からは「和歌山県の全市町村平和行進は44年続いている事や禁止条約が発効し、核は国際法違反となったがロシアは核の威嚇や他国で核の共有化を進めている。岸田政権はウクライナ危機を利用し、戦争準備や大軍拡を進めている。平和行進の中で、この逆流を打ち破ろう」と呼びかけました。最後、仲江孝丸町議がギター伴奏付きで「青い空は」を歌い、参加者で合唱しました。地域のマスコミも取材にきていました。6月5日平和行進は、那智勝浦町です。 県事務局